

令和5年度 学校評価報告書

学校名	三田市立けやき台中学校
-----	-------------

1 学校教育目標

夢や希望を持ち、目標に向かってたくましく、しなやかに生きる生徒の育成
～明るく、わ(和・輪)のある学校～

2 今年度の学校重点目標

- (1) 自尊感情を高める (2) 学力向上の取組 (3) 生徒指導の充実
- (4) 人権教育・特別支援教育の充実 (5) 家庭・地域との連携
- (6) 学校園所連携(小中一貫教育)の推進 (7) 働きがいのある職場づくり

3 総合的な自己評価

学校教育目標の実現に向け、重点課題を中心に取組みを進めてきた。生徒のアンケート回答において、多くの項目で肯定的評価(「そう思う」「だいたいそう思う」)が9割程度であり、特に、「学校の雰囲気が明るく、活気がある」「災害・非常時への備え」についての肯定的評価が高いことに元気が出る。

一方、授業での発表や家庭学習、読書、生徒理解、地域での活動等、取組むべき課題もある。生徒の声や姿、保護者の意見などから、改善の方針・具体的な手立てを考え、全職員で取組んで一層の教育活動の充実を図り、生徒の資質・能力を高めたい。

PTA、保護者、地域、ボランティアの皆様のご理解・ご支援により、豊かな教育活動が進められたと感謝する。

4 総合的な学校関係者評価

学校教育目標の実現に向かって、課題を明確にして教職員が取組んでいることがわかる。向上心を持って改善を図り、教育活動の一層の充実へ向けて教職員一丸となって取組んでほしい。

思いやりのある生徒、学校に誇りを持っている生徒が多い。地域で暮らしていても、けやき台中の関係者であることを誇りに思う。また、生徒会活動など先輩の姿にあこがれて考え取り組む生徒の意欲も感じられる。けやき台中の伝統が引き継がれていることをうれしく思う。

学ぶ気持ちを持ち続け、素直で人に好かれる人になってほしい。地域のみならずとの出会いやふれあいによって、生徒が成長していることに感謝である。

5 評価結果

自己評価				学校関係者評価
分野・領域	評価項目(取組内容)	評価結果及び分析	改善の方策	学校関係者評価委員会の意見
学校教育目標	学校教育目標や重点課題、目指す生徒像・学校像・教師像を意識した教育活動が日々実践されているか。	各設問において、肯定的評価が9割程度である。学校教育目標やめざす生徒像の実現に向かって、学校生活を明るく楽しいものにしてきている。	学校教育目標やめざす生徒像、学校像の更なる浸透を図るとともに、課題意識をもって重点目標に取り組む。	アンケートから、学校教育目標へ向かって教育活動が実践されていることがわかる。地域で生活していても実感がある。「けやき台中学校に誇りを持っている」「好き」など、けやき台中学校の関係者でよかったと感じる。今後も改善、努力を続けてほしい。
	生徒が学習する場としてふさわしい教育環境が整っているか。	「災害・非常時の備え」について、昨年度から取組んできた安全対策が定着してきたと共に、新たに不審者対策も強化した。	命を守るための危機管理、不審者対応を一層徹底すると共に、清掃指導を見直し、全員で気持ちの良い学習環境づくりに取り組む。	授業を参観すると、明るい雰囲気で授業が行われている。教育環境の整備や災害・非常時の備えなど、一層の取組みを願う。教室に入りにくい生徒も学べるよう環境整備を願う。
教育課程 学習指導	適切な時期と目的により、充実した学校行事を実施できているか。	体育大会や文化祭などの学校行事に全校生徒で取り組み、充実感のあるものにしてきた。PTAによる受付を行い、安全・感染対策ができている。ホームページなどでも、生徒の活動の様子を発信し、関心を持っていただいている。	体育大会の熱中症対策が必要である。開催時期の検討などを進める。部活動の地域移行が始まっている。地域力も借りながら、スポーツや文化、科学等に親しむ機会を広げ、充実させていきたい。	行事に関して高い評価を得ている。生徒の活動を見ても、充実感を感じていると思う。
	「学力向上指導改善プラン」に基づき、授業改善・家庭学習の充実・学力補充・小中連携の充実・読書活動の充実に取り組んでいるか。	「iPadの効果的な活用」を研究テーマに、学力向上に取り組んできた。授業での発表や家庭学習の充実、読書を継続した課題と考える。	グループ学習の充実など、学力向上指導改善プラン(授業改善・家庭学習・学力補充・小中連携・読書)の実行を一層進める。	昨年同様、読書の機会が少ない。勉強時間との兼ね合いもあるかもしれない。朝読書や図書ボランティアなど、学校の取組みは評価する。本に親しむ取組みを進めてほしい。 学習について、学習習慣をつけることと、学ぶ意欲を高めることが重要である。グループ学習の機会を増やすなど指導方法を工夫して生徒の力を伸ばしてほしい。

生徒指導	教育相談の充実により生徒理解に努めるとともに、問題行動の早期発見・早期対応、未然防止に取り組んでいるか。	生徒は思いやりの心を持ち、ルールや服装、あいさつなど落ち着いた生活を送っている。保護者と協力しながら一層の生徒理解を進め、仲間づくりや問題行動の早期発見・早期対応に取り組んでいく必要がある。	生徒への言葉かけや言葉遣いを見直すこと、伝え方を工夫改善すること、共感的に生徒の声を聴くことなど、生徒が相談しやすい環境を充実させていく。	言葉遣いなど改善すべきところは改善し、一層の生徒理解に努めてほしい。誰にでも進んであいさつができるようになってほしい。先生をはじめ、各家庭においても大人が範を示していくと生徒はあいさつができるようになる。問題行動の未然防止のために、あいさつや靴をそろえるなどすると、心が整い良いと思う。
	「学校いじめ防止基本方針」に基づき、いじめ問題に迅速かつ組織的に対応できているか。	小さな変化を見逃さないように、日常的な関りを大切にし、生活アンケートや教育相談を継続している。いじめ対応チームで情報共有と方針決定を行い、組織的に取り組んでいる。	「いじめはどこでもどの生徒にも起こりうる問題である」との認識で、小さいいじめも見逃さないように指導する。また、ストレスに対処できる力やわかる授業づくりなど、いじめに向かわない態度・能力の育成にも取り組む。	生徒が、思いやりの心を持っているのがいい。大事にしてほしい。いじめの見逃しがゼロになり、アンケートの肯定的評価が100%になるように、一層の取組みを期待する。
家庭・地域との連携	通信やHP、オープンスクールによって家庭や地域に情報を発信し、開かれた学校づくり・信頼され応援される学校づくりができているか。	ホームページにたくさんの方々からアクセスがあり、生徒・学校の様子を発信できた。ホームページが、けやき台中学校に関心を持っていただく機会となっている。	タイムリーな情報発信を一層進めると共に、生徒の様子を直接見ていただく機会の充実に努める。	HPによる学校生活や生徒の様子の発信は効果的で、アクセスのし甲斐のある内容になっている。アクセス数の増加からもそのことがわかる。
	学校運営へのPTAや地域住民の参画、及び協力を推進しているか。	「図書ボランティア」「生け花ボランティア」「朝のあいさつや見守り」「植栽ボランティア」「PTAのみなさんによる行事ごとの受付」などの協力により、スムーズに、安全に、また、豊かに教育活動が実施できている。	地域の協力やボランティアに感謝である。生徒は「人の役に立ちたい」「地域や社会のために何かしたい」という気持ちを持っている。生徒が地域で活躍する機会を増やしていけるようにする。	多くのボランティアの支援で学校が充実した教育活動を行っていることがわかる。クリーンデー参加への呼びかけやウッドタウン運動会への参画など、生徒が地域で活躍する機会を増やしてほしい。

6 学校自己評価の実施状況について

時期	内容
12月7日～ 12月22日	生徒・保護者・教職員対象にアンケートを実施
2月7日	アンケート結果及び学校自己評価のまとめ
2月22日	アンケート結果を保護者に配布
2月26日	学校評価の総括

※学校自己評価…外部（児童生徒・保護者・地域等）アンケートの実施を含む

7 学校関係者評価委員会の活動について

時期	内容
7月4日	第1回学校関係者評価委員会（学校教育目標説明、評価計画）
9月12日	第37回体育大会参観
10月30日	第37回文化祭参観
12月1日	第2回学校関係者評価委員会（アンケート内容の確認）
2月15日	第3回学校関係者評価委員会（評価・総括）

8 学校評価の公表について

時期	手段	内容	添付
2月	保護者宛て文書	「学校評価アンケート結果」を保護者に配布。	
3月	学校だより	「学校評価報告書」を学校だよりに掲載、地域に回覧。	
3月	学校ホームページ	「学校評価報告書」を掲載。	
4月	学校だより	2023年度学校評価結果を踏まえ、2024年度の取組等を説明。	